

女性のリカレント教育に関する取組

令和6年4月25日

文部科学省

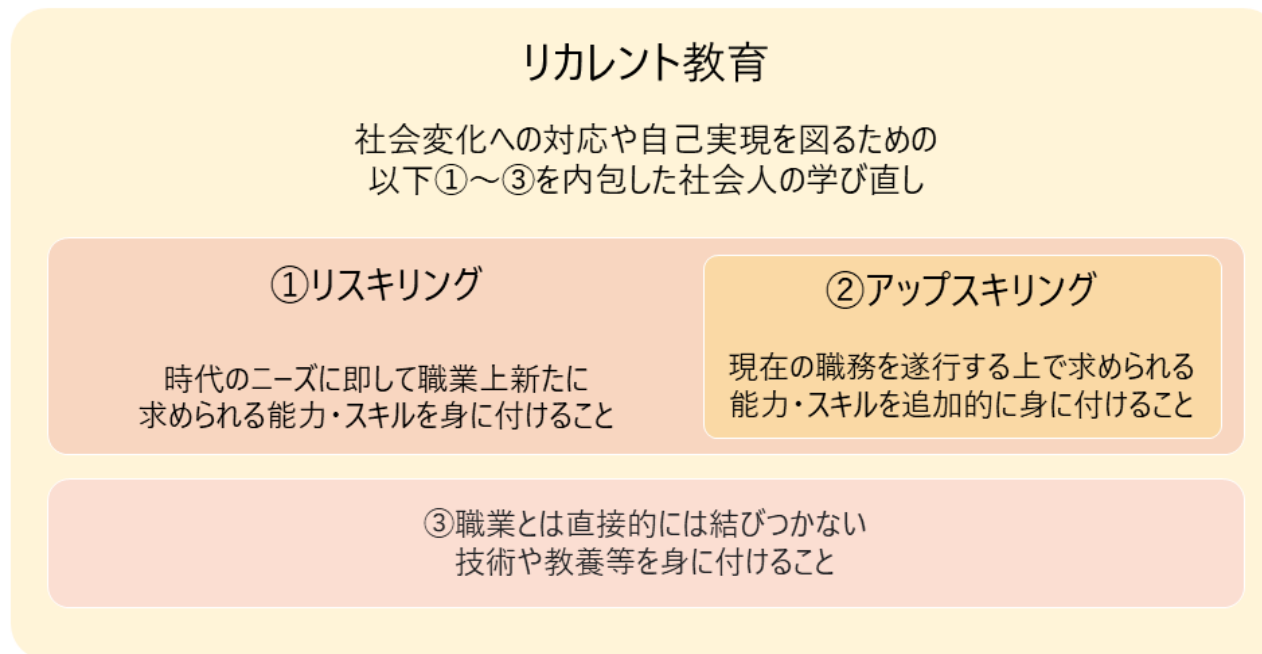
リカレント教育とは

「リカレント教育」とは、元来はいつでも学び直しができるシステムという広い意味を持つものであるが、本議論の整理では、キャリアチェンジを伴わずに現在の職務を遂行する上で求められる能力・スキルを追加的に身に付けること（アップスキリング）や、現在の職務の延長線上では身に付けることが困難な時代のニーズに即した能力・スキルを身に付けること（リスキリング）の双方を含むとともに、職業とは直接的には結びつかない技術や教養等に関する学び直しも含む広義の意味で使用する。

（第11期生涯学習分科会における「議論の整理」より）

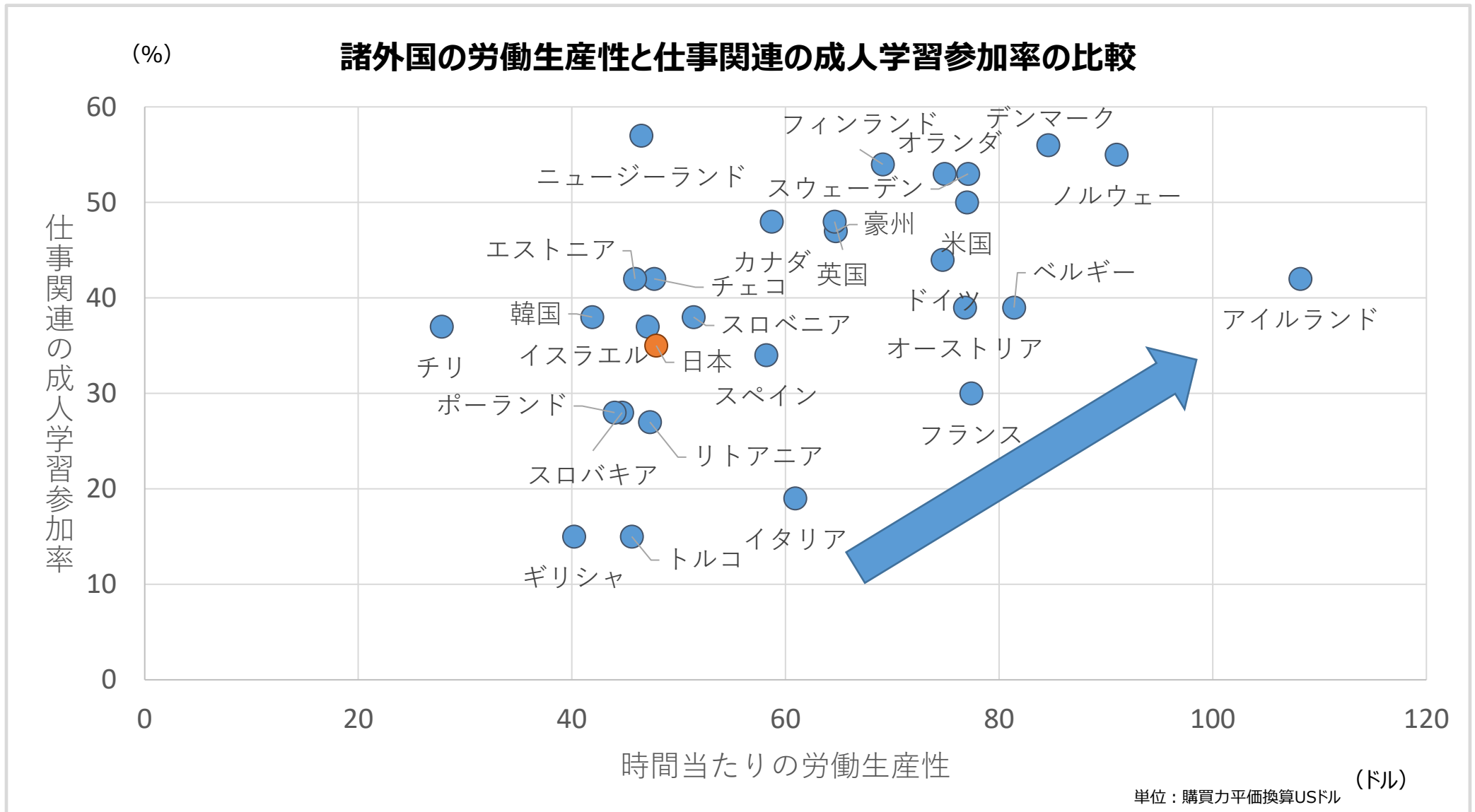
（参考：総務省 平成30年度版 情報通信白書より）

リカレント教育は、就職してからも、生涯にわたって教育と他の諸活動（労働、余暇など）を交互に行なうといった概念である。1970年に経済協力開発機構（OECD）が公式に採用し、1973年に「リカレント教育－生涯学習のための戦略－」報告書が公表されたことで国際的に広く認知された。



※第11期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理を踏まえたイメージ図

○仕事関連の成人学習参加率が高い国ほど、時間当たりの労働生産性が高い傾向にある。



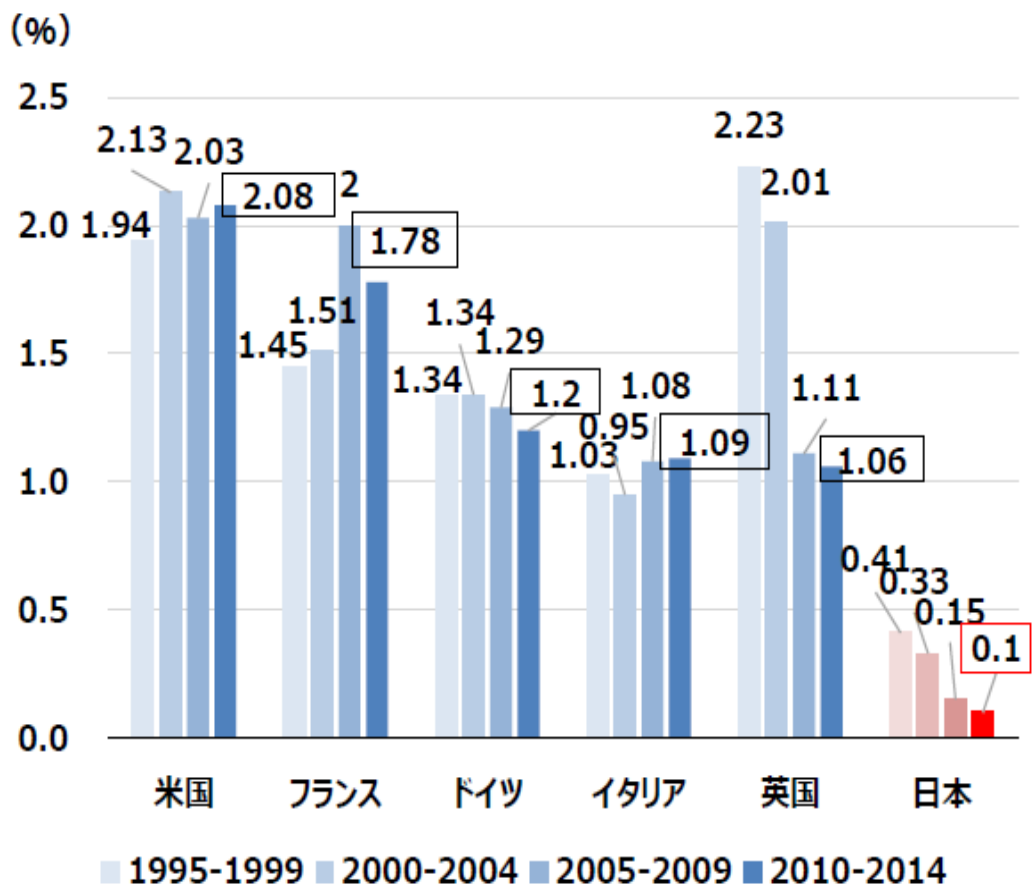
(出所) 日本経済新聞 (2021年6月6日) を参考にOECDデータより作成。
縦軸：PIAAC2012,2015 横軸：2019年データ

企業は学ぶ機会を与えず、個人も学ばない傾向が強い

教育未来創造会議
第一次提言参考資料より。

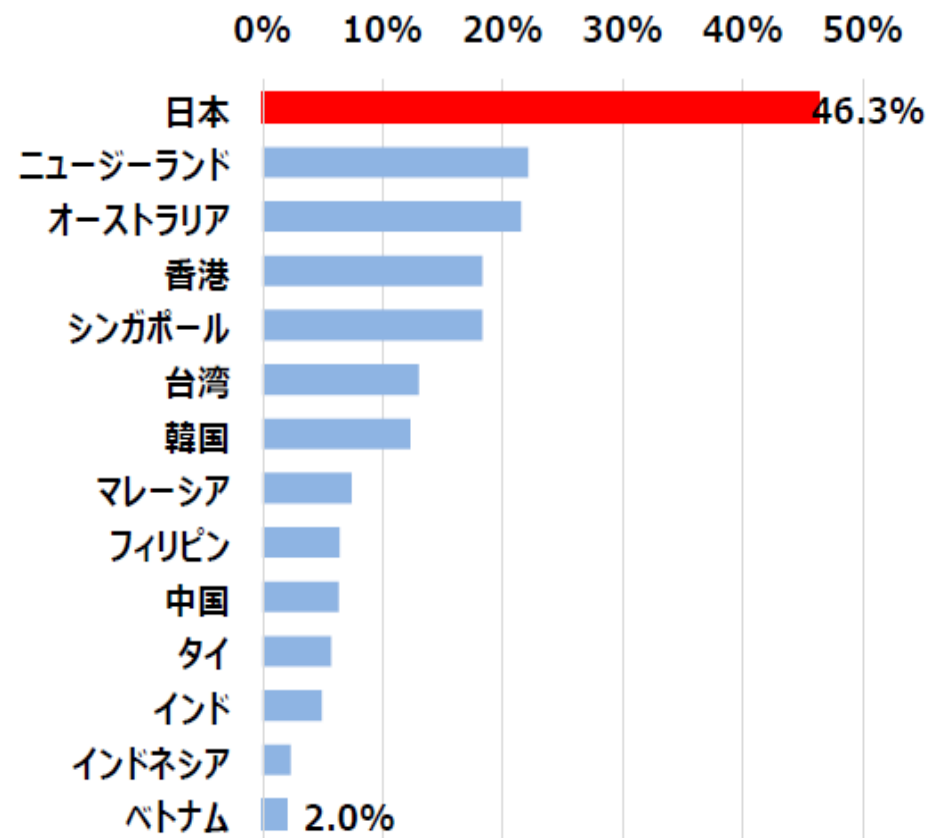
- 日本企業のOJT以外の人材投資（GDP比）は、諸外国と比較して最も低く、低下傾向。
- 社外学習・自己啓発を行っていない個人の割合は半数近くで、諸外国と比較しても不十分。

人材投資（OJT以外）の国際比較（GDP比）



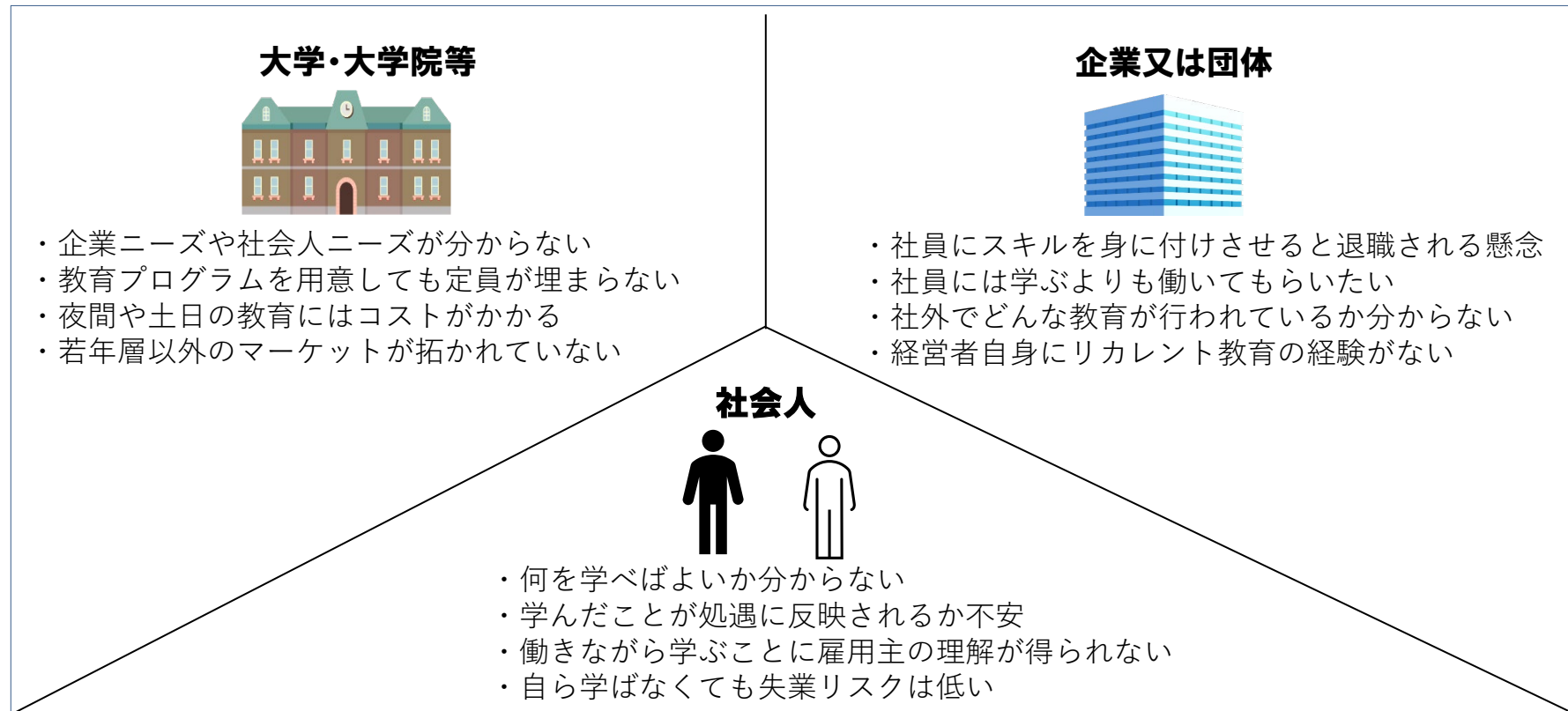
（出所）学習院大学宮川努教授による推計（厚生労働省「平成30年版労働経済の分析」）を基に経済産業省が作成

社外学習・自己啓発を行っていない人の割合



（出所）パーソル総合研究所「APAC就業実態・成長意識調査（2019年）」を基に経済産業省が作成

現状は企業・個人・教育機関が「三すくみ」の状態



世界的に見ても圧倒的に立ち遅れており、我が国の経済成長、労働生産性の向上、個人のウェルビーイング実現にとって危機的状況

- 我が国の労働力人口の急激な減少は不可避であり、労働者一人ひとりの生産性向上が急務
- 成人の学習参加率が高いほど、時間当たりの労働生産性が高い傾向
- 米国企業の人材投資（GDP比）は、日本企業の20倍以上
- 我が国の労働者は現在の勤務先に継続勤務する意欲は低いが、転職も起業もする意欲も低い（主要アジア各国中最低）

目的・概要

- 成長分野におけるリカレント教育の推進は教育未来創造会議等の政府会議や、骨太の方針、新しい資本主義実行計画等の政府文書でも求められている。
- そこで、**大学・高等専門学校等**に対し、産業界や社会のニーズを満たす**プログラム開発・実施・横展開に向けた支援**を行う。
- 併せて、大学におけるリカレント教育事業を**定着発展させる**ため、ニーズ把握からプログラム開発を一体的に実施する体制整備を支援する。

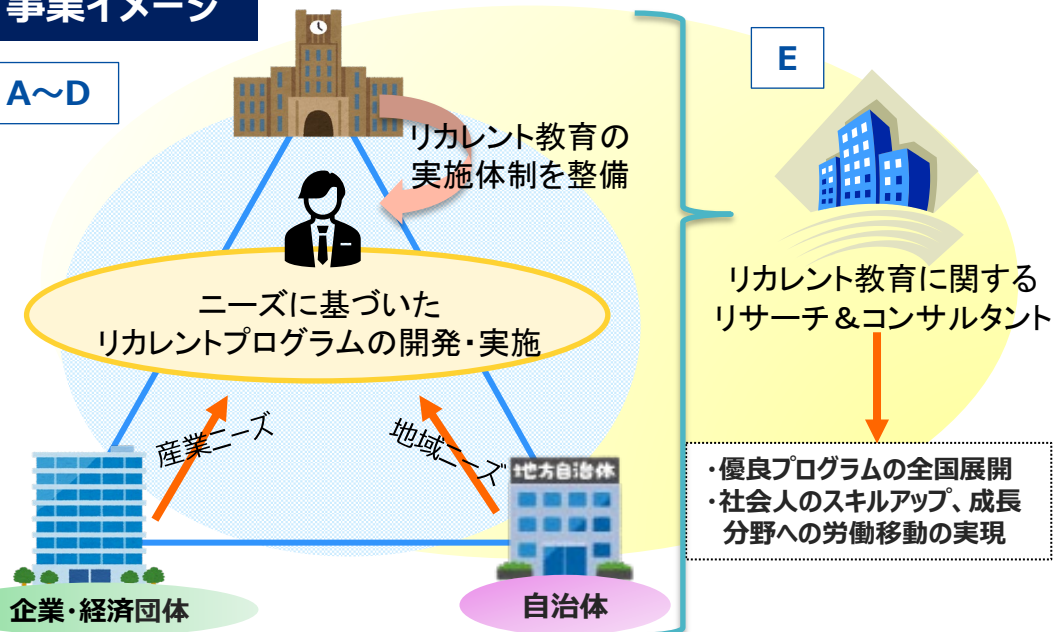
大学が民間企業や社会人に対しても積極的に働きかけ、

- 社会人のキャリアアップ
 - 企業の人的資本投資と生産性の向上
 - 発展し続ける社会を支える大学
- の好循環を構築

事業イメージ

A~D

E



実施内容

※補助率：2/3（A~D）

A. デジタル・グリーン分野リスキルプログラムの開発・実施

【40百万円×30拠点×2/3=8.0億円】

- 主に**就業者**が対象。DX分野に強い企業等と連携し、**応用的なデジタル・グリーン分野の能力を育成し就業者のキャリアアップや成長分野への労働移動に繋げる。**

B. 重要分野のプログラムの開発・実施（リテラシー又はリスキル）

【20百万円×20拠点×2/3=2.7億円】

- 主に**就業者・失業者・非正規雇用労働者**が対象。各業界と連携し就職・転職に必要な**基礎的又は応用的な重要分野の能力を取得しキャリアアップにつなげる。**

C. 各分野のエキスパート人材育成に向けたプログラムの開発・実施

【40百万円×10拠点×2/3=2.7億円】

- 大学院レベルの知見を活用した課題解決を通じ、各分野の**ハイレベル人材を育成し、イノベーション等に繋げるため、**短期間（半年程度）のリカレントプログラムを開発・実施する。

D. リカレント教育モデルの構築による大学院教育改革支援

【45百万円×9拠点×2/3=2.7億円】

- 民間企業等との「**組織**」連携のもと、**大学院のリカレント教育に係る組織内改革（リカレントをディプロマ・ポリシーに追加、恒常的な教育実施体制の構築等）や、養成する人材像やスキルセットを明確化したオーダーメイド型のリカレント教育学位プログラムの構築（短期間プログラムのパイロット実施含む）**に向けた支援を実施する。

E. プログラム実施・拠点構築の支援・分析、横展開に向けた取組

【1.4億円・2か所（民間企業等）】

- 大学が行うリカレントプログラムの開発や実施上の課題に対する調査や助言、開発したプログラムの横展開等に関する支援に併せ、**事業の円滑かつ効果的な実施に向けた支援**を行う。

リカレント教育等社会人の学び直しの総合的な充実

令和6年度予算額 88億円
(前年度予算額 91億円)

令和5年度補正予算額 7億円



人生100年時代やデジタル社会の進展、絶え間なく変化する社会情勢を踏まえ、産業界や社会のニーズに対応した実践的なプログラムの開発・拡充やリカレント教育の基盤整備を車の両輪として厚労省・経産省と連携しながら推進し、誰もがいくつになってもキャリアアップ・キャリアチェンジを実現し、新たなチャレンジができる社会を構築する。

大学・専門学校・高等専門学校等を活用した社会人向けの実践的なプログラムの開発・拡充

<社会人を主なターゲットとしている予算事業>

①リカレント教育による新時代の産学協働体制構築に向けた調査研究事業 : 538百万円【令和5年度補正予算】

・高等教育機関ならではのリカレント教育モデルの確立に向け、産業界の人材育成課題や大学等の教育資源を整理した上で、具体的なプログラム開発のための分析・ヒアリング等を行う調査研究を実施

②専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業 : 402百万円(402百万円)

・専修学校の教育分野8分野において企業や各業界と連携しプログラムを開発・提供。

③放送大学学園補助金 : 7,301百万円(7,392百万円) (放送大学学園次世代教育研究開発センターにおけるリカレント教育及びリ・スキリングの推進等)

・各地域の大学等が強みを持つ研究分野について、各学習センターとタイアップした同時双方向Web授業開発によるリカレント教育の推進。

☆大学・専修学校の実践的短期プログラムに対する文部科学大臣認定の充実(非予算)

・大学・大学院「職業実践力育成プログラム」(BP)及び専修学校「キャリア形成促進プログラム」

⇒ 受講者の学習機会の拡充や学習費用の軽減につながるよう、認定講座をさらに充実。

職業実践力育成プログラム: 179大学等、426課程(令和5年12月時点)

キャリア形成促進プログラム: 17校、23課程(令和5年12月時点)

④大学等における価値創造人材育成拠点の形成 : 76百万円(80百万円)

・社会人を対象に、デザイン思考・アート思考の養成、分野横断型の学修を経て、創造的な発想をビジネスにつなぐ教育プログラムの開発及び拠点の形成。

⑤女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業 : 19百万円(21百万円)

・女性のキャリアアップ・キャリアチェンジに向けた学び直しやキャリア形成等の総合的支援。

<社会人をターゲットの一部としている予算事業>

⑥大学による地方創生人材教育プログラム構築事業 : 85百万円(169百万円)

・地域が求める人材を養成するための教育改革を実行するとともに、出口(就職先)と一体となった教育プログラムを実施。社会人も対象に含めた短期プログラムの提供も想定。

⑦地域活性化人材育成事業 : 878百万円の内数(919百万円の内数)

・学部等の再編を目指す取組、大学間の高度な連携等を通じ、地域資源を結集したプログラムを構築し、イノベーションを担う人材を育成(取組の一部に社会人等を対象とした履修証明プログラムを含む)。

※このほか、国立大学や私立大学等の基盤的経費の算定において、社会人の受入れ状況や組織的な受入れ促進の取組状況が考慮されている。

リカレント教育推進のための学習基盤の整備

①地域ニーズに応える産学官連携を通じたリカレント教育プラットフォーム構築支援事業 : 139百万円【令和5年度補正予算】

・地域における人材ニーズと大学等の教育コンテンツのマッチングや、リカレント教育に対する企業側の評価の在り方等に関する検討、経営者向けのプログラム開発など、リカレント教育を継続的に推進するためのプラットフォームを構築する大学コンソーシアムや自治体等への支援を実施。

②社会人の学びの情報アクセス改善に向けたポータルサイト「マナパス」の改良・充実 : 30百万円(30百万円)

・社会人の学びを応援するポータルサイト「マナパス」の機能強化やコンテンツ拡充に取り組み、大学等における社会人向け講座情報や受講にあたって活用できる経済的支援の情報、実際の学習成果・ロールモデル等の情報発信を強化するとともに、学習歴の可視化・キャリアアップへの活用等を促進。



マナパスに掲載している情報

- ・令和2年4月よりサイトの本格運営を開始し、**1日あたりのPV数は3,000程度**。
- ・マナパスの**マイページ登録者数は1,093人**（20～30代が約33%、40～50代が約49%、令和6年3月時点）
- ・Yahoo! バナー広告やテレビ番組、ラジオ番組、教育関係のイベント等でも紹介！

職業情報提供サイト「**job tag (じょぶたぐ)**」、**「マナビDx (デラックス)**」等、社会人に有益な情報を発信するサイトとも相互リンク等により連携！！

<講座検索>

大学・専門学校の社会人向けプログラムを中心に5,000程度の講座を掲載！「オンライン」「取得資格」「費用支援（教育訓練給付制度対象講座等）」など、希望に沿った条件検索も可能！企業における利用が想定される講座の検索が可能な「**企業向け講座検索ページ**」を令和4年12月に開設。

<特集ページ>

「地方創生」「就職氷河期」「経済的支援」「女性の学び」等社会的にホットなテーマと学びを掛け合わせて紹介！！



<ランキング機能>

ビジネスや健康福祉、情報といった分野別のアクセスランキングを日々更新中！！

講座アクセスランキング	
ビジネス系 (MBA・経済・経営・法・政治 他)	
1	リカレント教育課程 日本女子大学
2	政策創造研究科政策創造専攻修士課程 法政大学
3	避けたい英語 2020 (藤田義明提供) JMOOC
4	能登里山里海SDGsマイスタープログラム 帝京大学
5	近江環人地域再生学座 社会人コース 滋賀県立大学
6位～20位はこちら	

<マイページ機能>

会員登録をすることで、お気に入りの講座を登録したり、過去に見た講座情報が確認できるように！！学習履歴も記録可能で、令和4年12月にはオープンバッジ (URL) の貼り付け機能も実装。



<学びのガイド機能>

検索タグで、性別・年代、問題意識に合わせた学びのモデル検索（修了生等のインタビュー）や実践的、経済的支援のあるプログラムの検索が可能！！

学びのモデルを見つけよう

在学生・修了生インタビューを
読みたい方はこちら

実践的なプログラムから探そう

実際に直結するプログラムをお
探しい方はこちら

学費等の支援がある講座を探そう

奨学金や教育訓練給付金の対象
のプログラムはこちら

最新のトピックから選ぼう

特集記事から関連する講座を探
したい方はこちら

<いいね機能>

ユーザーから関心の高い講座が一目でわかるように、「いいね機能」を搭載！！

<動画紹介>

社会人の学びに対する教育界・産業界からのメッセージや、大学・専門学校の学習事例を紹介！！

青山学院大学 メニューA 「2023年度後期 青山情報システムアーキテクト育成プログラム」 (DX, 女性活躍)

【プログラムの目的】

DXに対応した知識・スキル修得し、企業のDXなどの取り組みで、ビジネス主導で情報システムを開発、運用できる人材を育成します。

【プログラムの特徴】

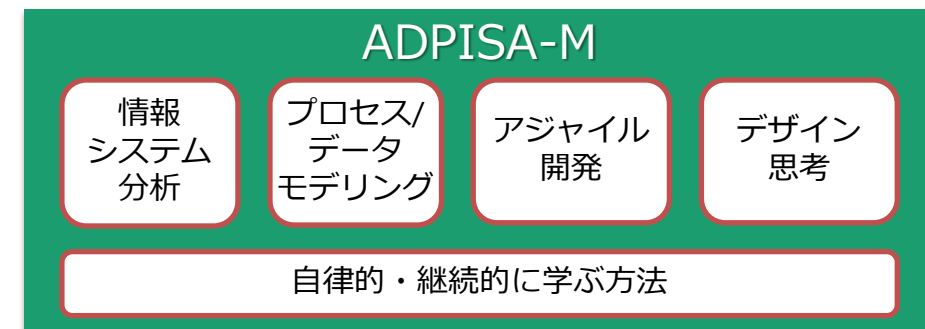
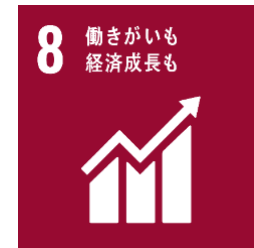
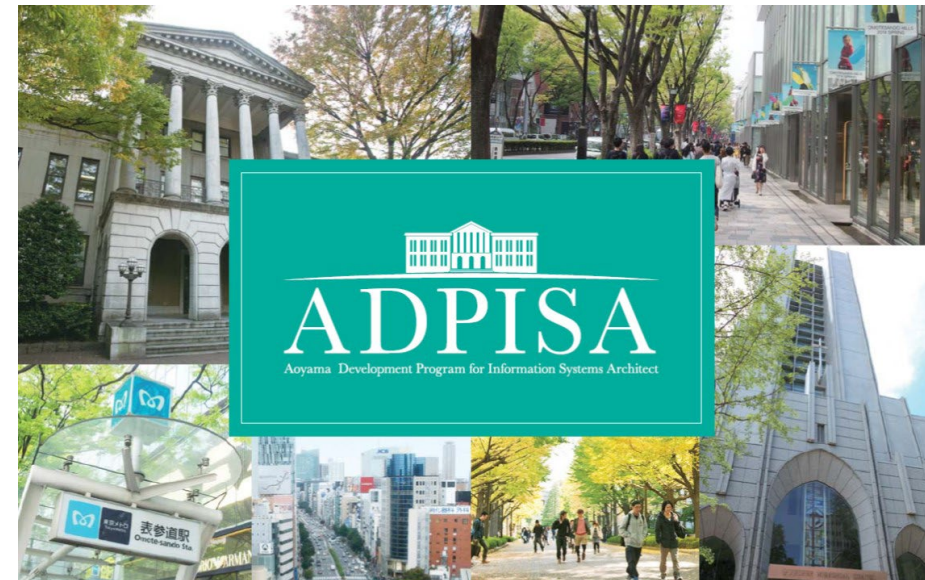
- 組織、人の活動も含めた広義の情報システムを対象とした教育を実施し、DXのキーパーソンを育成します。
- ライフイベントで離職する人の割合が高い女性を優先的に応援します(受講生の半数以上)。
- 持続可能な開発目標(SDGs)に対応します。

【具体的な取り組み】

- 情報システムの基礎から学ぶ初級の履修モデル (ADPISA-E)と、IT技術を学んだ経験のある方向けの中級の履修モデル (ADPISA-M)があります。
- 情報システム分析・モデリング、アジャイル開発等、DX対応の業務ですぐに役に立つスキルが身に付きます。
- DXに関連した知識のみならず、思考力や、学習の認知的方略(学び方を学ぶ)を修得させ、自律的かつ継続的に学ぶ力がつきます。

【その他】

- 2023/9月から4か月、毎週土曜日講義。定員30名。
- 全講義の50%をオンライン授業。50%が青山キャンパスで実施。



日本女子大学 メニューB(リスキル)

日本女子大学リカレント教育課程「次世代リーダーを目指す女性のためのDX人材育成コース」(DX×女性活躍)

事業の概念図

日本女子大学 メニューBリスキル 日本女子大学リカレント教育課程「次世代リーダーを目指す女性のためのDX人材育成コース」
DX × 女性活躍

身につけられる能力：プログラミング、業務効率化、RPA、AI、機械学習、ディープラーニング、データベース、ネットワーク、マルチメディア、サイバーセキュリティ、コンピュータシステム、データ構造、アルゴリズム、マネジメント、経営戦略

ICT関連業務のサマリーの把握
リーダーシップの発揮



私立女子大学唯一の理学部が推進支援する
DX人材育成プログラム

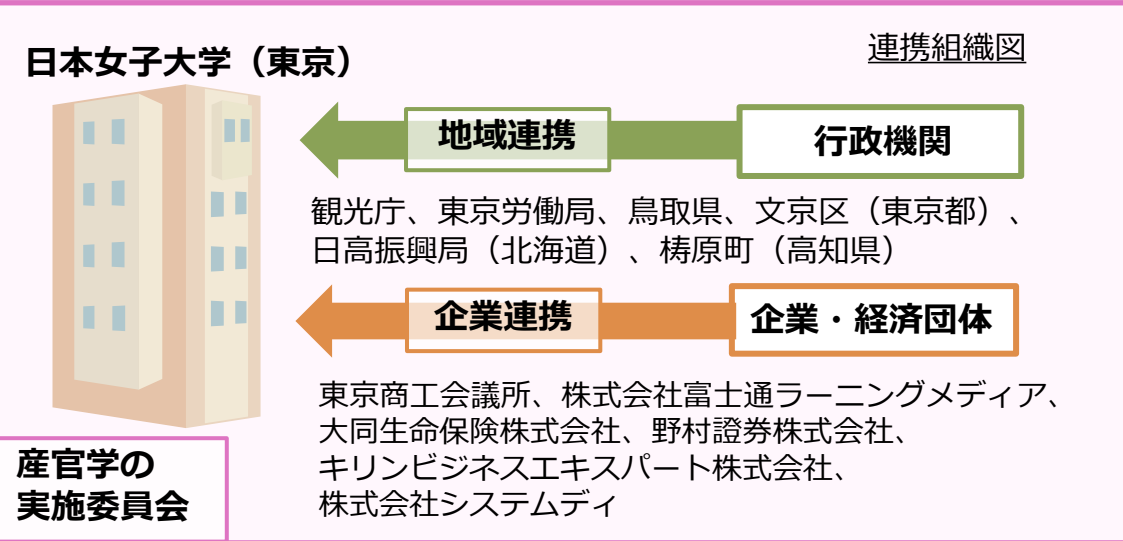
基礎知識系・実践演習系・
事例研究系・キャリア形成系科目

高等学校卒以上(短大・大学・大学院)、大学受験資格を有する
就労中・就労経験のある社会人女性

業務のデジタル化に取り組んでいる 又は
ICT関連業務に興味ある女性対象(業界・職種は問わず)

定員25名(目標)

A人材 【現在マネージャー】	B人材 【マネージャー候補】	C人材 【キャリア意識の高い若手人材】
DXの全体像を把握したいと考えている、マネージャー職に就いている人材。	ICTスキル・DXへの見識を持ち、今後は一つ上の視座を獲得したいと考えている、マネージャー候補の人材。	自動化や効率化に関心のある、生産性が高く、会社から将来を期待されている若手人材。



プログラムの目的



- ◆ 潜在的なDX人材不足の解消
- ◆ リスキリングによるDX推進人材の育成
- ◆ ジェンダーギャップの解消
- ◆ デジタル分野における女性のリーダーシップ推進
- ◆ 地方創生への支援

プログラムにおける企画

開講式 実施
 修了証 発行
 学内施設 利用可
 PC 貸出
 交流イベント の開催
 ポータルサイト SNSによる 情報発信

授業期間：10月～2月(5カ月間) 平日：19時～20時40分/土曜：1時限目(9時～10時40分)、2時限目(10時50分～12時30分)
 修了要件：65時間、6.5単位(授業日数の2/3以上、授業時間の2/3以上出席) 仕事・通信障害による遅刻・欠席対応あり
 授業形式：すべてオンライン授業(Zoom、オンデマンド) 科目により開講期間が異なる(時間割参照) 本学LMS使用
 目 標：修了率9割以上、満足度8割以上



【事業開始年度：令和2年度】

背景等

- 少子高齢化、Society5.0の実現を見据える中、**あらゆる分野での女性の参画拡大は社会・経済の持続可能な発展のために重要。**
- 第5次男女共同参画基本計画（令和2年12月）では、**社会の多様性と活力を高め我が国経済が力強く発展していく観点や、男女間の実質的な機会の平等を担保する観点から、指導的地位への女性の参画の拡大が極めて重要**とされた。
- 「2030年代には、誰もが性別を意識することなく活躍でき、指導的地位にある人々の性別に偏りがないような社会となることを目指す。」ことが目標として掲げられ、
- 学校教育分野においては、**初等中等教育機関の教頭以上に占める女性の割合を令和7年までに、校長20%、副校長・教頭25%とする成果目標が設定。**
- 女性活躍・男女共同参画の重点方針2023（女性版骨太2023）（令和5年6月）では、「児童生徒の固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を解消するための取組や、**幼児期からも同様に、固定的な性別役割分担意識等を植え付けることなく、女子の理工系分野での活躍など将来のあらゆる選択肢について自由な希望を抱くことができるようになるための教育環境の整備に資する取組を行う。**」とされている。

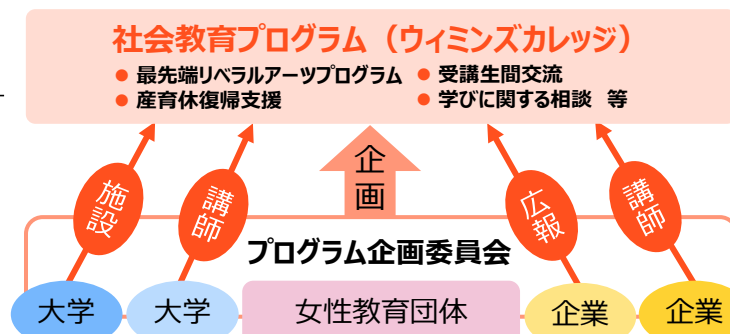


令和2年度より、女性の多様なチャレンジに必要となる学びを総合的に支援する仕組みづくりに関するモデルを構築。

令和6年度は、**女性教育関係団体、大学及び研究者、企業等が連携し、女性が指導的地位に就くに際して必要となる体系的な学習の提供等、女性の多様なチャレンジを総合的に支援するモデルを構築。**さらに、我が国の将来を担う子供たちの最も身近な存在である**学校運営における女性の参画を推進し、子供たちの男女共同参画を推進する意識を醸成することに加え、幼児期の教育現場等における固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消に資する方策について調査研究を行う。**

取組① 多様なチャレンジに寄り添う学び・社会参画支援モデルの構築

- 男女共同参画、女性の活躍等に知見を持つ女性教育関係団体と多様な分野に高度な知見を持つ大学及び研究者、企業等が連携し、総合的な知識、的確な判断力と実行力を高め、**組織の指導的地位として、より高度な社会参画を目指す女性の支援に資する社会教育プログラム（ウイミンズカレッジ）**を構築。
- 同プログラムでは、男女共同参画に関する知識の他、Society5.0時代の最先端のリベラルアーツや、ビジネスや高度な意思決定の場で求められる的確な判断力等、多種多様な社会生活においてアップグレードを目指す女性を対象に、それぞれの知識の体幹強化に必要なオーダーメイド型の学習機会を提供するモデルを構築する。



取組② 学校教育分野における女性の意思決定過程への参加

- 学校教育分野において女性の採用・登用が進まない地域が抱える課題について把握し、その課題解決に役立つ好事例や教員を目指す女性が管理職等へのキャリアを志向することができるようなロールモデルを収集し、全国フォーラム等の開催により横展開を図る。

取組③ 固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みの解消に資する調査研究

- 未就学児がジェンダーバイアスにより自分の可能性を狭めてしまわないよう、幼児期の教育現場等における固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消に資する方策について調査研究を行う。

京都女子大学「ウィミンズカレッジ（KNF）連携 マネジメント力基礎プログラム（マネジメント入門コース）」

組織で必要とされるマネジメントの基本的な知識とリーダーシップスキルを学び、キャリアを振り返ることで、社会参画のマインドとキャリアに関する自己効力感を高め、マネジメント職への挑戦を高めることを目的とする。

マネジメント力の基礎を身につけたい方に

京都女子大学
リカレント教育課程

土曜日リモート+オンデマンド授業*

マネジメント入門コース

ウィミンズカレッジ(KNF)連携
京都女子大学、日本女子大学、福岡女子大学

60時間履修証明プログラム、2023年度に限り受講料無料 *職場見学(選択科目)は、企業訪問が必要です。

令和5年度文部科学省 女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業

科目紹介 履修モデル 募集要項 よくある質問

自信を育み、新たなステージへ。

女性活躍が急務とされる中、女性がリーダーとなりプロジェクトを任せられる機会は確実に増えています。しかし、研修機会に恵まれず、自信がない、ロールモデルとなる女性リーダーが身近にいないと、折角のチャンスに前向きになれなかったり、悩みながら

職に就かれている方が少なくない現状があります。このコースは、日本初、女性リーダーの育成に実績がある3女子大学が連携して開講するコースです。マネジメント力を身に付け、自信をもって、リーダーとして新たな1歩を踏み出していいただくために、3女子大学が連携してつくり上げ、開設しました。

◎マネジメント入門コースのリフレットはこちら

マネジメント入門コースの特徴

特徴1

女性リーダー育成に実績をもつ3女子大学連携の講座

京都女子大学・日本女子大学・福岡女子大学、の3女子大学が連携しプログラムを提供する女性のためのリカレント初の取り組みが実現しました。リモートで行われる演習に、グループワークを取り入れるなど、実績ある講師陣が、一方通行に終わらないライブ感のある授業を行います。

特徴2

全国どこからでも受講できるオンライン授業(月2日程度のリモート授業+オンデマンド授業)

土曜日に実施のリモート授業とオンデマンド授業を組み合わせて構成されているので、働く女性も効率よく学べます。PCとネット環境があれば、ご自宅で受講が可能です。職場見学(選択科目)の1日だけは、企業訪問が必要ですが、東京、大阪、福岡から、訪問先企業を選んでいただけます。

特徴3

安心して学べる充実したサポート体制

今まで研修機会が無かった方でも、安心して学んでいただけるようにサポート体制を充実させています。専任コーディネーターを配置し、学ぶ目的や目標を共有して学習をスタートします。講義システムの使い方や学習についても気軽に相談いただけます。希望者には、3回のキャリアカウンセリングも用意しています。

科目一覧

月2日程度のリモート授業とオンデマンドによる授業です。

タイムマネジメント、マネジメントとデザイン思考、ロールモデルセミナーなど、マネジメントに関する最新知識が、ライブ感ある演習の中で、身につきます。

提供機関	領域	科目名	時間	授業形態
合同	その他	入学式・オリエンテーション	1.5	オンライン
京都女子大学	「キャリア」のマネジメント	ライフキャリアデザイン(キャリアについて)[90分×2回]	3	オンライン・オンデマンド
		「人」のマネジメント	7.5	オンデマンド
		「組織」のマネジメント	9	オンデマンド
		リーダーシップとネットワーク	3	オンライン
日本女子大学	「時間」のマネジメント	タイムマネジメント講座(東京商工会議所連携講座)[1日:5.5時間]	5.5	オンライン
福岡女子大学	戦略的思考とリーダーシップ	イノベーション・マネジメントとデザイン思考Ⅰ[90分×3回]	4.5	オンライン
		イノベーション・マネジメントとデザイン思考Ⅱ[90分×3回]	4.5	オンライン
NTT西日本	DX社会への理解	AIリテラシー[90分×5回]	7.5	オンデマンド
女性教育機関	リベラルアーツとマインドアップ	国立女性教育会館提供セミナー(テーマ:ジェンダーの視点からの持続可能な地域づくり)	1.5	オンライン
		市川房枝財団提供セミナー(テーマ:女性と政治)	1.5	オンライン
合同		FRE協議会シンポジウム	3	オンライン・オンデマンド
京都女子大学		京都女子大学リカレントシンポジウム[12月16日]	3	オンライン・オンデマンド
合同	職場見学(選択科目)	NTT西日本(大阪)・就労支援施設(福岡)・就労支援施設(東京)	5	対面
合同	地域活躍(選択科目)	地域リーダーセミナー	3	ハイブリッド
合同	その他	成果報告会・修了式	3	オンライン
合計			68	

<実施内容>

大学、企業、女性団体等が協働し、多様な指導的立場の女性を総合的に支援するマネジメント力養成の視点から、特徴的な講座を提供し、構築。

- 受講期間は、令和5年10月～令和6年2月
- 受講者は、女性35名(ほとんどが正規雇用、管理職手前)
- 月2日程度のリモート授業とオンデマンド授業(一部ハイブリッドで実施)